

## 《2019年度「お客さま本位」の業務運営（フィデューシャリー・デューティー）の取組状況》

ちばぎんアセットマネジメント株式会社（以下、「弊社」）は、お客さま本位の業務運営を強化するため、2017年6月30日に『「お客さま本位」の業務運営（フィデューシャリー・デューティー）に関する方針』を策定・公表しました。

この方針のもと、弊社は、お客さま本位の取組みを強化していますが、こうした取組みを分かりやすくお伝えするため、2019年度の取組状況を具体的な指標とともに公表します。

### 【ちばぎんアセットマネジメントの取組状況】

#### お客さまの最善の利益の追求、従業員に対する適切な動機づけの枠組み等

- 弊社が運用する公募投資信託は、2019年度末時点で全15ファンドあります。  
それらの過去のパフォーマンスは下記のとおりです。【図①】
- 国内株式への投資にあたっては、投資先企業の企業価値向上及び弊社運用ファンドのパフォーマンス向上を図るべく、ファンドマネージャー及びアナリストによる投資先企業との面談・対話を積極的に実施しております。【図②】
- 専門知識を有する人材の育成のため、社内勉強会の開催や、従業員の外部研修への派遣等を実施しております。

#### 【図①】 公募ファンドの過去のパフォーマンス

	ファンド名	設定年月日	騰落率（分配金込み）	
			1年	設定来
①	ちばぎんコア投資ファンド（安定型）	2015年7月31日	-4.94%	-9.00%
②	ちばぎんコア投資ファンド（成長型）	2015年7月31日	-5.99%	-9.69%
③	日本株好配当ファンド（年1回決算型）	2016年7月29日	-10.09%	14.23%
④	日本株好配当ファンド（年2回決算型）	2016年7月29日	-10.09%	14.33%
⑤	むさしのコア投資ファンド（安定型）	2016年9月30日	-4.88%	-2.28%
⑥	むさしのコア投資ファンド（成長型）	2016年9月30日	-6.01%	1.10%
⑦	オーストラリア・アジア REIT ファンド Aコース（為替ヘッジなし・毎月決算型）	2017年2月1日	-30.75%	-11.64%
⑧	オーストラリア・アジア REIT ファンド Bコース（為替ヘッジあり・毎月決算型）	2017年2月1日	-23.57%	-3.10%
⑨	オーストラリア・アジア REIT ファンド Cコース（為替ヘッジなし・年2回決算型）	2017年2月1日	-30.95%	-11.96%
⑩	オーストラリア・アジア REIT ファンド Dコース（為替ヘッジあり・年2回決算型）	2017年2月1日	-23.76%	-2.97%

	ファンド名	設定年月日	騰落率（分配金込み）	
			1年	設定来
⑪	日本中小型株ファンド	2017年7月31日	-12.45%	-9.93%
⑫	ほくよう資産形成応援ファンド	2017年8月31日	5.67%	0.10%
⑬	分散名人	2018年5月16日	-7.14%	-4.09%
⑭	分散名人（国内重視型）	2019年1月31日	-1.16%	0.27%
⑮	ジャパンESGクオリティ200インデックスファンド	2020年3月10日	—	2.03%

（参考）TOPIX（配当込み） -9.50%

（参考）TOPIX 小型（配当込み） -11.09%

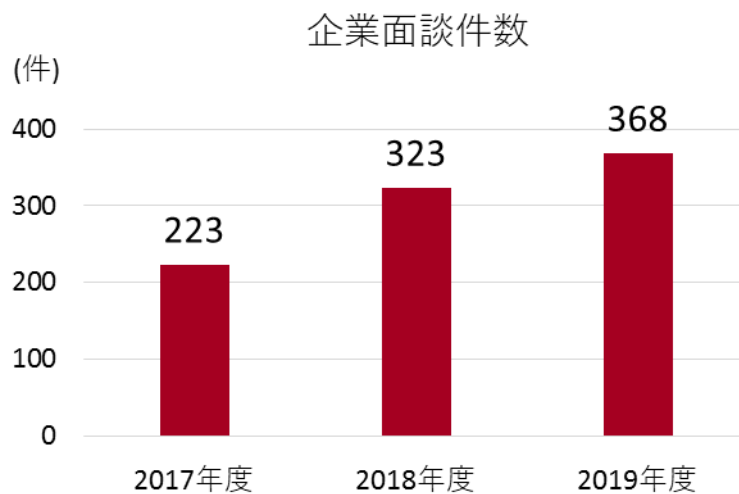
※騰落率は、2019年度末（2020年3月31日）時点のものを記載しております。

※騰落率は、分配金（税引前）を再投資したものと計算しております。

※TOPIX（配当込み）及びTOPIX 小型（配当込み）は、上記各ファンドのベンチマークではありません。

あくまで参考としてお考えください。

#### 【図②】 企業との面談・対話の活動件数



※上記の企業面談件数は、調査対象企業と個別に面談を行った件数です。

当社ではその他に、決算説明会への参加や証券会社アナリストとのミーティング等の調査活動も行っております。

## 利益相反の適切な管理

○スチュワードシップ責任を果たす上で利益相反が生じ得る局面を特定し、回避するための方針を策定・公表しております。コンプライアンス部門は、これに基づきお客さまの利益が損なわれることがないように、モニタリングを実施しております。

なお、利益相反管理方針は、下記URLにて公表しております。

<http://www.chibagin-am.co.jp/company/operation/contrary/>

○議決権行使の透明性を高めるため、議決権行使の考え方及びガイドラインを下記URLにて公表しました。

考え方 <http://www.chibagin-am.co.jp/company/operation/basic/>

ガイドライン <http://www.chibagin-am.co.jp/company/operation/guideline/>

○議決権行使結果については、四半期毎にホームページで公表しております。2019年度に行使した議案件数の合計は下記〔図③〕のとおりです。

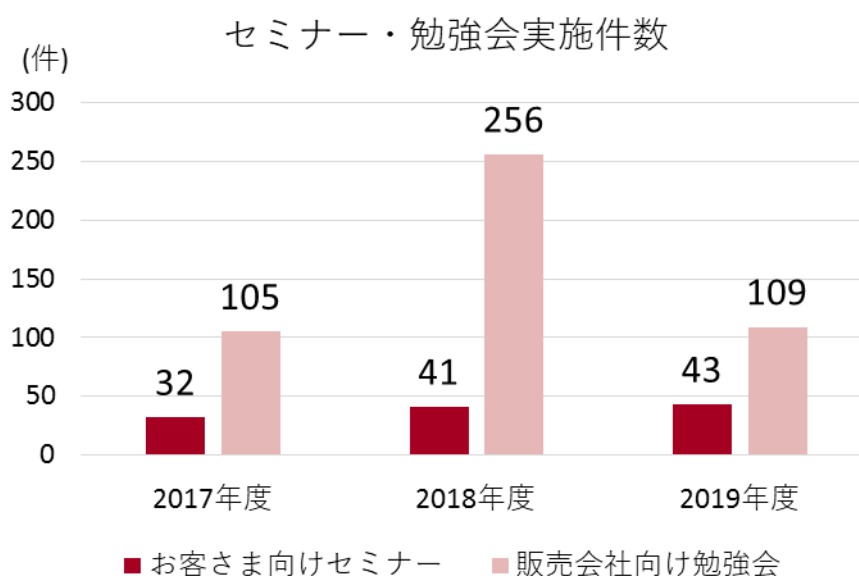
〔図③〕 議決権行使状況（2019年4月～2020年3月）



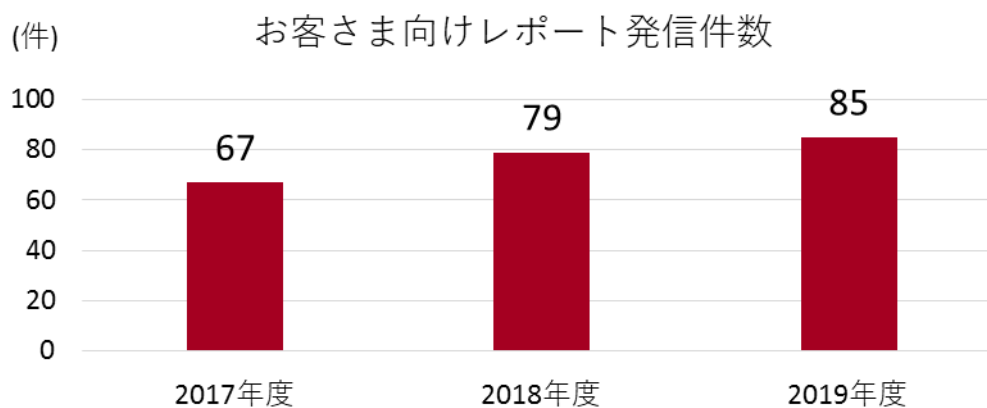
## 手数料等の明確化、重要な情報の分かりやすい提供

- お客さまの資産形成や投資判断に有用な情報を提供すべく、お客さま向けのセミナー、販売会社向けの勉強会を継続的に実施しております。【図④】
- 主要販売会社を通じて、市場動向等についてのお客さま向けレポート（「投資環境ウィークリー・レポート」、「CAMマンスリー」、「臨時レポート」等）を定期的に発信しております。また、弊社ホームページに「株式市場展望」レポートを掲載しております。【図⑤】

【図④】 お客さま向けセミナー、販売会社向け勉強会実施件数



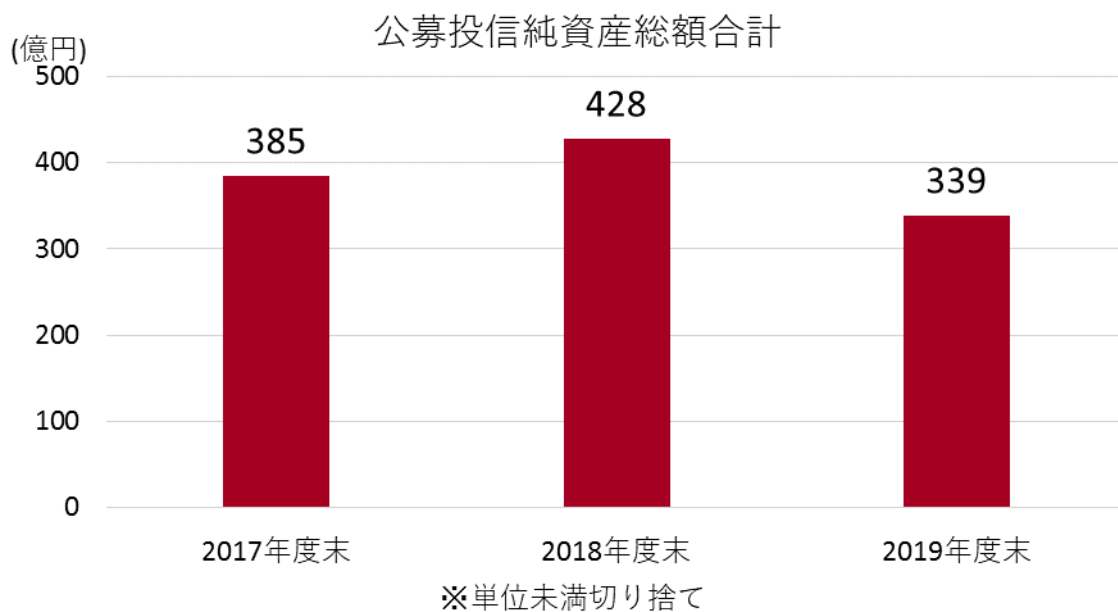
【図⑤】 お客さま向けレポート発信件数



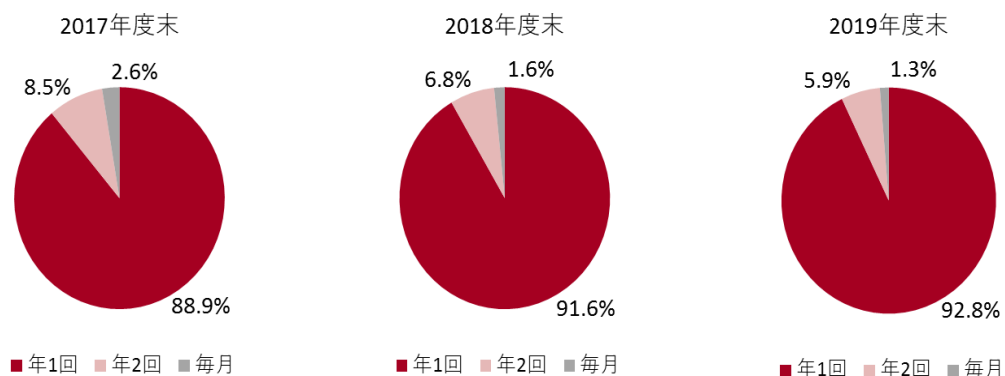
## お客さまにふさわしいサービスの提供

- SDGsやESG投資への関心が高まる中、幅広いお客さまのニーズにお応えするため、ジャパンESGクオリティ200インデックスファンドを新規設定しました。
- 公募投資信託の運用残高は、新型コロナウイルス感染拡大を受けた株式市場の低迷等の影響を受け、減少しました。【図⑥】
- 一般的に、分配頻度の少ないファンドは、頻度の多いファンドに比べて運用効率が高く、お客さまの中長期的な資産形成に適していると考えられています。弊社では分配（決算）頻度が年1回のファンドを中心に運用を行っております。【図⑦】

【図⑥】 公募投資信託の純資産総額の推移



【図⑦】 公募投資信託の決算頻度別純資産総額比率



以上